

平成28年(2016年)度事業報告書

平成28年8月1日から平成29年7月31日まで



特別非営利活動法人
東京ノーヴォイ・レパートリーシアター

1. 事業の成果

当年度に行った、ロシア・ウラジーミル 国際演劇フェスティバル「黄金の門にて」での公式招聘公演（ドストエフスキー「白痴」）は、私達にとって一つの大きな壁を乗り越えるような大きな仕事であったと思います。また続いての、モスクワ国際音楽会館での『古事記』公演を完遂できたことも大きな実績と自信となりました。今回その成果の一つとして、来年の11月になりますが、次のロシア公演についての正式な招聘を主催者側から戴いていることを報告させていただきます。演劇は、国境を超える芸術です。2018年の「日本におけるロシア年」「ロシアにおける日本年」を見据え、日本から発信される私たちの舞台芸術が、国際間の文化交流の一助となればと思っております。

またこの年は私たちの活動実績に対する評価が高まり、規模の大きな依頼公演が相次いだことが特色です。詳細は各事業の報告に譲りますが、北九州市や山梨県での継続的な活動は、さらに発展的な活動へとつながるよう、検討・準備を進めております。

さてここ数年の流れの一つとして、私たちの活動を手伝っていただける方が増えてきていることが挙げられます。これはたいへんに心強い流れではないでしょうか？ かつては「自分たちで何もかも作らなければならなかった時期」でした。けれども今は「人とのつながりを通じて、何かが生まれてくる時期」に変わってきたように思われます。私たちを取り巻く環境は変化・発展しています。私たち自身も、その変化を正確に感じ取り、意識的に発展していくことが求められているようです。今後の活動をどうぞ楽しみにしててください。

理事長 岡崎弘司

2. 事業の実施に関する事項（特定非営利活動に関わる事業）

<演劇の公演事業（定款5条-1）>

【注】原則として、ここでは主に「自主企画公演を中心とした活動」や「企業からの買取公演等」を取り上げていますが、「地域との連携活動による依頼公演」、海外との「国際交流活動による公演」などは、それぞれの活動の性格にあわせた事業活動の中で紹介しています。

例)

当年度の「ウラジミル国際演劇祭『白痴』招聘公演」「モスクワ『古事記』公演」「『白痴』帰国凱旋公演」は、それぞれ、「国際交流事業」で報告。長野県北杜市教育委員会からの依頼公演（『コーカサスの白墨の輪』北杜公演／八ヶ岳定住自立圏共生ビジョン事業）は、「地域支援事業」で報告しています。

アトリエを活用した「天才古典作家の作品」普及活動（レパートリー公演活動）

当年度は、ロシアからの招聘を受けた海外公演や、長野県での「八ヶ岳定住自立圏共生ビジョン」事業に協力させていただいた公演など、多くの方々から依頼を受けての大型公演が多かった年です。非常にハードなスケジュールの1年でしたが、その一方で本来のレパートリー作品の普及活動も継続して実施することができたことを報告させていただきます。

今回は、ギリシャ悲劇（エウリピデス、ソポクレス）の2作品と日本の古典作品（近松門左衛門、宮沢賢治）の普及紹介を行っています。なお、中には、レパートリー作品として10年を超えるものもあり、それぞれが、“作品のより深い理解を反映した上演”として高い評価を受けました。

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲・人数	事業費の金額
演劇の公演事業	<「天才古典作家の作品」普及活動> 宮沢賢治作『銀河鉄道の夜』公演	平成28年 12月15～17日 (4公演)	東京ノーヴィ・レパ トリーシアター (東京都世田谷区)	40人	一般 85人	8,051 (千円)
	<「天才古典作家の作品」普及活動> 【2016年下北演劇祭参加】 エウリピデス作『メデア』公演	平成29年 2月16～25日 (8公演)	東京ノーヴィ・レパ トリーシアター (東京都世田谷区)	40人	一般 170人	
	<「天才古典作家の作品」普及活動> ソポクレス作『アンティゴネ』公演	平成29年 3月23～25日 (4公演)	東京ノーヴィ・レパ トリーシアター (東京都世田谷区)	40人	一般 105人	
	<「天才古典作家の作品」普及活動> 近松門左衛門作『曾根崎心中』公演	平成29年 4月20～23日 (4公演)	東京ノーヴィ・レパ トリーシアター (東京都世田谷区)	40人	一般 94人	
	<「天才古典作家の作品」普及活動> 『古事記～天と地といのちの架け橋』 北九州公演 (株式会社サンレー創立50周年事業)	平成29年 1月28日 (1公演)	北九州芸術劇場 中劇場 (北九州市小倉北区)	40人	一般 700人	

<演劇芸術に関わる人材育成支援事業（定款5条-2）>

【注】原則として、ここでは「地元本拠地で、年間継続して行っている人材育成支援活動」を主に扱い、「地域性の強い活動（地方からの要請で開催される活動など）」は「地域文化支援事業」で扱っています。

1) アカデミーの運営による芸術家育成活動（定款5条2項(ア)演劇芸術に関わる教育機関の運営）



私たちは、国際的なスタニスラフスキーシステムの研究と人材育成機関として、「東京インターナショナル・スタニスラフスキー・アカデミー」を開校していますが、一昨年度より、より現代的な要請に合わせられるよう「映像コース」を併設しています（主任講師兼アカデミー校長：ロシア功労芸術家、レオニード・アニシモフ／映像コースの担当講師は『かみさまのやくそく』の映画監督、荻久保則男氏）。

当年度は、第4期生を対象に開校。

2) 演劇クラスを通しての社会人支援活動（定款5条2項(イ)セミナー、ワークショップの開催）



これまで、一般社会人を対象に設けていた演劇クラスは、当年度より「スタニスラフスキー・スタジオ」と変わりました。一般の方たちでも高度な演劇教育を受け、学んだことを実践できる場所として運営されています。

またスタジオでとりあげる作品の一つとして、当年度より、加賀乙彦先生の長編小説『宣告』の舞台化の準備が始まりました（担当指導者：菅沢晃）。

3) その他の一般セミナーや講師の派遣（定款5条2項(ウ)演劇文化普及及び教育の為の講師派遣）

当年度も前年度に引き続き、様々な専門家や社会人を対象としたセミナーに講師を派遣しました。

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲・人数	事業費の金額
演劇芸術に関わる人材育成支援事業	【演劇芸術に関わる教育機関の運営】 「東京インターナショナル・スタニスラフスキー・アカデミー」日本で唯一、ロシアの一流演劇大学と同じ水準でスタニスラフスキー・システムを学ぶことができる、本格的なアカデミーを開校、運営（当期は、第4期生）。	通年	東京ノーヴィ・レバートリーシアター（東京都世田谷区）	8人	一般 15人	10,488 (千円)
	【演劇文化普及及び教育の為に講師派遣】 「スタニスラフスキーシステム」を通じた、能力開発の為にセミナーに講師を派遣。	平成29年 2月11日～ 7月8日（7回）	道玄坂ピアビル（東京都渋谷区）	2人	一般 35人 (のべ)	
	【セミナー、ワークショップの開催】 <「スタニスラフスキー・スタジオ」の運営> アイルランドの劇作家トマス・マーフィー作『バリヤガンガーラ～笑いのない町～』上演のほか、加賀乙彦原作『宣告』の舞台化を進める。	(通年) 発表会；平成28年8月24～28日（8公演）	東京ノーヴィ・レバートリーシアター（東京都世田谷区）	3人	一般 6人	

<演劇芸術に関する情報発信事業（定款5条-3）>

国際シンポジウム「世阿弥とスタニスラフスキー」講演

（定款5条3項（イ）演劇芸術理論及び技術に関する研究とその成果の発表）

上智大学グリーンケア研究所・科研「身心変容技法研究会」による、国際シンポジウム「世阿弥とスタニスラフスキー」が開催され、協力。当団体の芸術監督アニシモフ氏による「スタニスラフスキーの演劇法と身心変容技法について」というテーマでの講演を行った。



事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲・人数	事業費の金額
演劇芸術に関する情報発信事業	【演劇芸術理論及び技術に関する研究とその成果の発表】 国際シンポジウム「世阿弥とスタニスラフスキー」における講演	平成28年 7月11日	上智大学 四谷キャンパス (東京都千代田区)	2人	一般 不特定多数	0 (千円)

<演劇芸術を通しての国際文化交流事業（定款 5 条-4）>

市民レベルでの国際間文化交流は、現代社会において最も重要な仕事になってきています。国ごとに異なる文化、歴史背景の違いを乗り越えて、国際間で手をつなぐというのは実は簡単なことではありません。それぞれの国が持つ互いの素晴らしい文化を見つけ、互いに共有することが重要になってきていると考えています。

1) ウラジーミル国際演劇祭「黄金の門にて」でのドストエフスキー『白痴』招聘公演

(定款 5 条 4 項 (ア) 世界各国の文化芸術団体との国際交流)

ロシア・ウラジーミル国際演劇祭「黄金の門にて」より公式招待を受け、ドストエフスキー『白痴』を公演。また公演活動と並行して、ロシアの文化人、演劇人たちとの国際文化交流を行いました。

また帰国後には、この海外公演に対する凱旋公演として、渋谷区のさくらホールで『白痴』を上演。この公演では、これまで私たちを応援してくださった方へ感謝を届ける企画として実施しました。

2) モスクワ国際音楽会館『古事記』自主公演 (定款 5 条 4 項 (ア) 世界各国の文化芸術団体との国際交流)

日ロの文化交流推進を意図し、今回のウラジーミル国際演劇祭に合わせ、モスクワでの日本の創世神話「古事記」の舞台化作品を公開。公演後、ロシアの文化人、演劇人たちとの交流会を開催、意見交換を行いました。



3) 奇人変人倶楽部 (定款 5 条 4 項 (ア) 世界各国の文化芸術団体との国際交流)

昨年度に引き続き、当年度も国内の文化人・芸術家を招いての意見交換会を開催、日本の古典を代表する“源氏物語”を通して、「日本の文化の謎」をテーマにして話し合ってもらいました。



事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲・人数	事業費の金額
演劇芸術を通しての国際文化交流	【世界各国の文化芸術団体との国際交流】 ロシア・ウラジーミル国際演劇祭「黄金の門にて」ドストエフスキー『白痴』招聘公演。	平成 28 年 9 月 21 日 (1 公演)	州立アカデミア劇場 (ロシア国ウラジーミル州)	40 人	ロシア 一般市民 700 人	3,985 (千円)
	【世界各国の文化芸術団体との国際交流】 『古事記～天と地といのちの架け橋』モスクワ公演	平成 28 年 9 月 23 日 (1 公演)	モスクワ国際音楽会館 (ロシア)	40 人	ロシア 一般市民 500 人	
	【世界各国の文化芸術団体との国際交流】 ドストエフスキー『白痴』帰国凱旋公演	平成 28 年 10 月 5 日 (1 公演)	渋谷区文化総合センター 大和田 さくらホール (渋谷区)	40 人	一般 457 人	
	【世界各国の文化芸術団体との国際交流】 「奇人変人倶楽部」 昨年度に引き続き、当年度も日本の古典を代表する“源氏物語”を通して、「日本の文化の謎」をテーマにして話し合ってもらった。	平成 29 年 3 月 8 日	永井一郎邸 (世田谷区)	20 人	国内・海外の 文化人等 10 人	

<演劇芸術を通しての地域文化支援事業（定款5条-5）>

1) 山梨県北杜市「八ヶ岳定住自立圏共生ビジョン」事業

山梨県北杜市では、長野県富士見町・原村と結んだ『「八ヶ岳定住自立圏」形成に関する協定』により、様々な分野での取組みを進めています。今回は、北杜市からの要請を受け「八ヶ岳定住自立圏共生ビジョン」の事業に協力する形で公演を実施しました。

B・ブレヒト作「コーカサスの白墨の輪」公演



その他、北杜市での演劇鑑賞の新しいスタイルとして「ホームシアター」を提案。（ホームシアターとは、通常イメージされるような劇場を使用せず、ギャラリーや個人宅などを利用して上演される形態です）

今回は、北杜市内の個人の美術ギャラリーをお借りして、公演を実施しました。

また、この公演では、モンゴルを代表する芸術家D・ソソルバラム氏と共演する機会を得ました。終演後、ソソルバラム氏と、芸術に関する意見交換など、多岐にわたって交流ができました。



2) Xmas チャリティー公演

当年度も、地元でのXmas チャリティー公演を行いました。当年度は、オリジナルの創作童話『鹿と三匹のこぶたのクリスマス』を披露した。

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲・人数	事業費の金額
演劇芸術を通しての地域文化支援事業	<北杜市ホームシアター企画> 美しい自然に囲まれた北杜市で、演劇をより身近で感じてもらうために、個人のギャラリーをお借りして「ホームシアター」を実施。	平成 28 年 11 月 10 日 (1 公演)	SHIKANDAI ギャラリー (山梨県北杜市)	10 人	40 人	1,563 (千円)
	<八ヶ岳定住自立圏 演劇鑑賞・体験交流促進事業> 公演を実施したほか、演劇ワークショップも開催した。 6/24 ; 「コーカサスの白墨の輪」北杜公演 6/25 ; 「演劇ワークショップ」	平成 29 年 6 月 24~25 日 (各 1 回)	須玉ふれあい館 ホール (山梨県北杜市)	40 人	一般市民 245 人 (公演) 56 人 (WS)	
	<Xmas チャリティー公演> 恒例となった地元の子供たちを対象とした Xmas チャリティー公演を実施。	平成 28 年 12 月 24 日 (1 公演)	東京ノーヴィ・レパトリーシアター (東京都世田谷区)	20 人	親子等 28 人	

<演劇芸術に関わるネットワーク構築事業（定款5条-6）>

当年度、実施せず。

<その他、目的を達成するために必要な事業（定款5条-7）>

当年度、実施せず。